

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2011年2月）の予測

発表日：2011年3月30日（水）

～基調判断は上方修正が見込まれるが、3月分ではC Iの大幅低下が必至～

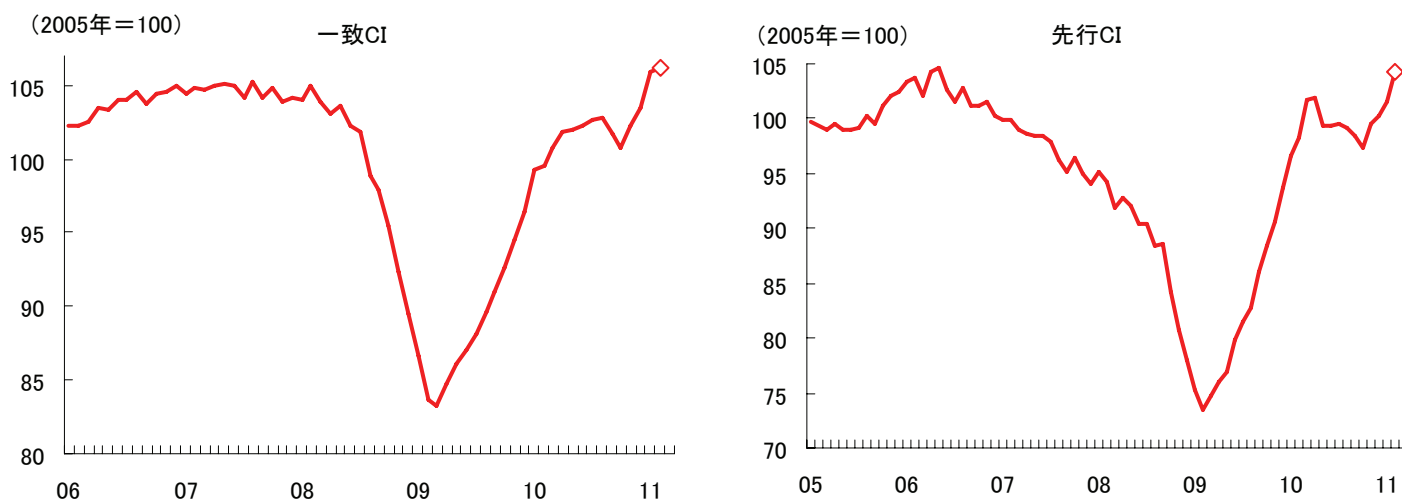
第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ 基調判断は上方修正だが・・・

内閣府から4月6日に公表される2011年2月の景気動向指数では、C I一致指数は前月差+0.3ポイントと、4ヶ月連続の上昇が予想される¹。2月の段階では景気の回復傾向が継続していたことを示す結果になるだろう。また、C I先行指数は前月差+2.7ポイントと、4ヶ月連続の上昇になるだろう。

内閣府によるC I一致指数の基調判断は上方修正が予想される。1月分の基調判断は「足踏みを示している。ただし、C I一致指数の3ヶ月後方移動平均が2ヶ月連続で上昇するなど改善に向けた動きもみられる。」だったが、2月分では内閣府が設定している上方修正の基準を満たすことになるため、基調判断は「改善している」に上方修正される見込みである。もともと、翌3月分で落ち込みが予想されることを踏まえると「改善している。ただし、先行きについては東北地方太平洋沖地震の影響に留意する必要がある。」といった形で、但し書き付きの上方修正になる可能性もあるだろう。

いずれにしても、今回公表される2月分の結果は震災前の統計であり、先行きを見る上でのインプリケーションには乏しい。3月分のC I一致指数は大幅低下が必至の情勢であり、09年3月をボトムとして続いてきたC Iの改善傾向はストップする可能性が高い。



(出所) 内閣府「景気動向指数」。直近の値は第一生命経済研究所予測値

¹ 一致指数の採用系列である所定外労働時間と、先行指数の採用系列である住宅着工床面積が現時点で見公表であるため、それぞれ前月比横ばいと仮定して計算を行った。